

2016年4月2日(土) 四季文化館みの〜れ 四季の里芝生広場 **で開催!**

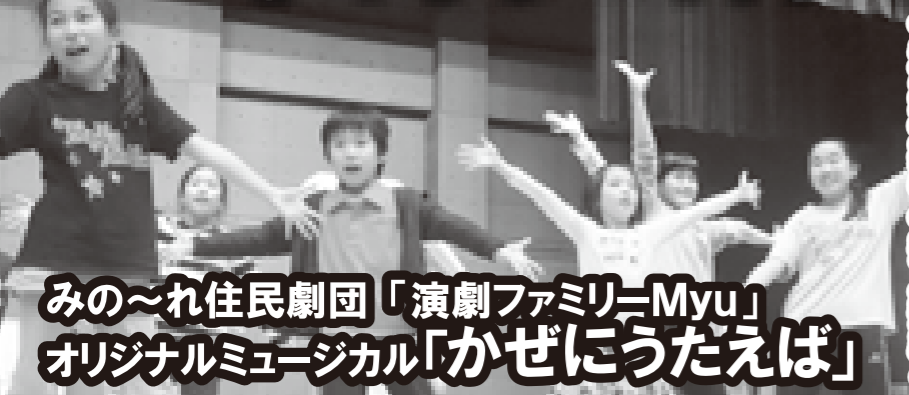
今年のテーマは **みの〜れ丸 ~みの〜れの暴走を君は止められるか?~**

「さくらフェスみの〜れ実行委員会」委員長 **川崎 麻貴 さん**

お待たせしました!今年も「小美玉さくらフェスティバル」の季節です。今回のテーマは「みの〜れ丸~みの〜れの暴走を君は止められるか?~」。家族みんなが、ハラハラ?ドキドキ?ワクワク?...そんな体験盛りだくさんのアミューズメントパークが1日限定で現れます。今まで見たことのない、みの〜れの姿になること間違いなし!2016年4月2日(土)は、ハラハラ?ドキドキ?ワクワク?が、暴走するみの〜れで皆さんの挑戦をお待ちしています。ぜひ、チャレンジしに四季文化館みの〜れにお越しください。



小美玉さくらフェスティバル 2016



みの〜れ住民劇団「演劇ファミリーMyu」オリジナルミュージカル「**なぜにうたえば**」

今から3年前に初公演となった「なぜにうたえば~清水橋村物語~」。この春、「さくらフェスティバル2016」の森のホールで、キャスト・スタッフも新たに再演されます。清水橋村(しみずきつそん)は、幼少期のひとときを過ごした詩人です。小美玉市に愛着をもち、ふるさととして愛し、その景色を唄った多くの作品を発表しています。キャスト・スタッフも、橋村の想いがたくさんの人々の心にも届くようにと稽古にも熱が入ってきました。橋村が込めたふるさとへの想いを感じられる元気いっぱいなファミリーミュージカル作品に期待は膨らみます。
公演の詳細は4ページをチェック!
<みのんぱ編集局特派員>

四季文化館 企画実行委員会 委員募集中!!

締切間近!
 ◇申込先 四季文化館(みの〜れ)
 ◇TEL 0299-48-4466

- 募集人数...14名
- 応募資格...高校生以上の方で、毎月1回夜間(予定)に行われる会議に出席できる方 ※市内外は問いません
- 応募方法...四季文化館(みの〜れ)備え付けの所定の申込用紙に必要事項を記入の上、四季文化館(みの〜れ)まで提出してください
- その他...四季文化館企画実行委員会の委員は、小美玉市の非常勤特別職に位置づけられます。任期2年(H28.4~H30.3)

あなたのアイデアがまちをつくる!



私が企画実行委員に応募したキッカケは、魅力あふれる“みの〜れ”のことをもっとよく知りたいと思ったからです。委員になってからは、住民参画によるいくつかの文化活動に参加し、体験をすることで、人がつどい・つながり・つくりあげてゆくさまに感動しながら学んできました。文化の創造拠点である“みの〜れ”で、多くの夢の実現に携わる、そんな素敵な瞬間に出会い、素敵な日々を過ごせたことに感謝しています。そして、これからも新たな出会いに期待しつつ、みの〜れと共に歩みだす、春を迎えます。<企画実行委員 宮嶋 勇一郎>

REPORT アピオスもみの〜れも、ホールの外に飛び出してみました。

おやこDEジャズアウトリーチ

2016.1.28 玉里小学校



アピオスのアウトリーチと玉里小学校の家庭教育学級事業(PTA活動)が一緒になって、「おやこDEジャズ」玉里小公演が開催されました。体育館に特設されたアピオス本公演さながらのステージとキャストの演技に、鑑賞した1~4年生の子どもたちと保護者約160人は大喜び。「トンネルを抜けて広がる世界がよかった」「ブンがおもしろかった」「ダンスが楽しかった」等の感想が寄せられました。公演の「発案者」である玉里小家庭教育学級長の青木寿美さんは「開催まで約1年。様々な不安があった中、キャスト、スタッフ、学校関係者、学年委員のみなさんの協力で素晴らしい公演となりました。今回の公演で、人と人が手を携えて一つのものを作り上げていくことの大切さを感じました。貴重な機会を頂きありがとうございました」と、大成功となった公演への感謝の気持ちを話されました。<みのんぱ編集局>

2016.1.30 茨城県近代美術館



たくさんの方に、美術作品や作家をより深く知ることができる機会を作りたいと考え実施しているのがこの美術鑑賞ツアー。今年度みの〜れ芸術展に出展いただいた、町田博文氏に案内していただきながら、県近代美術館で開催している「第9回現代茨城作家美術展」を鑑賞してきました。町田先生から当美術展の概要とともに、作品に対する思い、制作時の時代背景や感情など、先生の画家としての世界観を詳しく聞くことができました。また、美術展主催のギャラリートークにも参加し、出展している12名の芸術家の感性に触れることができました。参加者からは、「美術館へ行っても、説明があるのではないのでは大違い。町田先生はじめ、多くの作家の世界観を味わえて充実した1日となりました」「また、企画してほしい」と好評でした。<美術鑑賞ツアー実行委員>

みの〜れ 芸術展 2週連続企画 小美玉市にゆかりのある芸術家たち

美術鑑賞ツアー~「洋画家 町田博文氏と行く!」

美術ワークショップ「日本画家 小林恒岳氏の世界」



2016.2.7 石岡市八郷総合支所

平成25年度みの〜れ芸術展に出展していただいた小林恒岳先生の世界にふれようということで、八郷総合支所1階多目的ホール「郷の風」で開かれていた作品展会場先生ご夫妻の解説のもと、絵画鑑賞することができました。その後、アトリエにもご案内いただき、参加メンバー20名は感激の様子でした。奥様で詩人の碓杏子氏から、具象画のようだが抽象画の航跡があって交ざりあっているのが特徴というお話に、芸術展実行委員である清宮孝子さんは「説明を受けとても納得しましたし、また見方が変わった。今回の美術WSは参加者の方々からも大変喜ばれ、2年前からの構想が実現できてうれしい」と、企画を練りこんできたお一人でもあるからこそその喜びの声が聞けました。<みのんぱ編集局 野手 利江>

REPORT 和太鼓3団体の「響鳴」、節目の第10回! **おみたま和太鼓フェスタ 2016「響鳴」**

2016.1.31 Cosmes



小美玉市内にある3つの太鼓団体が年に一度共演する、『小美玉和太鼓フェスタ』は今回で10回目。小川・みのり・玉里の各団体の演奏と、合同演奏で構成されています。100名を超えるメンバーの息づかいと、客席まで和太鼓の振動が伝わり、素晴らしい公演に会場は大きな拍手と感動で一杯になりました。小学1年生から60歳までのメンバーが在籍する玉里創作太鼓の植田康雄さんは、「創立と同時に入って最年長の60歳になりました。3団体の合同曲もたくさん増えて、仲良く演奏できるのが素晴らしいと思います」と、話してくれました。<みのんぱ編集局 藤田 佐知子>

VO. 夕日に染まるホールでジャズを楽しむ **音楽を楽しむ会 夕暮れコンサート**

2016.2.3 鳳林院路るべ



美野里町時代から活動を続けている「町に良い音楽を楽しむ会」が、「夕暮れSwing Jazz」と名付け、久しぶりにコンサートを開催しました。文字通り竹原鳳林院路るべホールでは、ガラス越しに筑波山が夕日に照らされ、ジャズ一色になりました。はじめはちよつり堅かった観客も、最後は音楽に合わせ輪になって踊りだし、体でジャズを満喫していました。バンドマスターの杉村彰さんはよく知っている曲を選び演奏、「音楽は人生を豊かにしてくれる妙薬。そして客を楽しませるのがプロ、また小美玉に来たいな」と語ってくれました。<みのんぱ編集局 福島 ヤコビ>

FOCUS

まるごと文化情報局
 文化が麗るまちづくりを進める小美玉市。劇場から飛び出して、文化を発信している「ひと・もの・ところ」等を紹介して行きます。